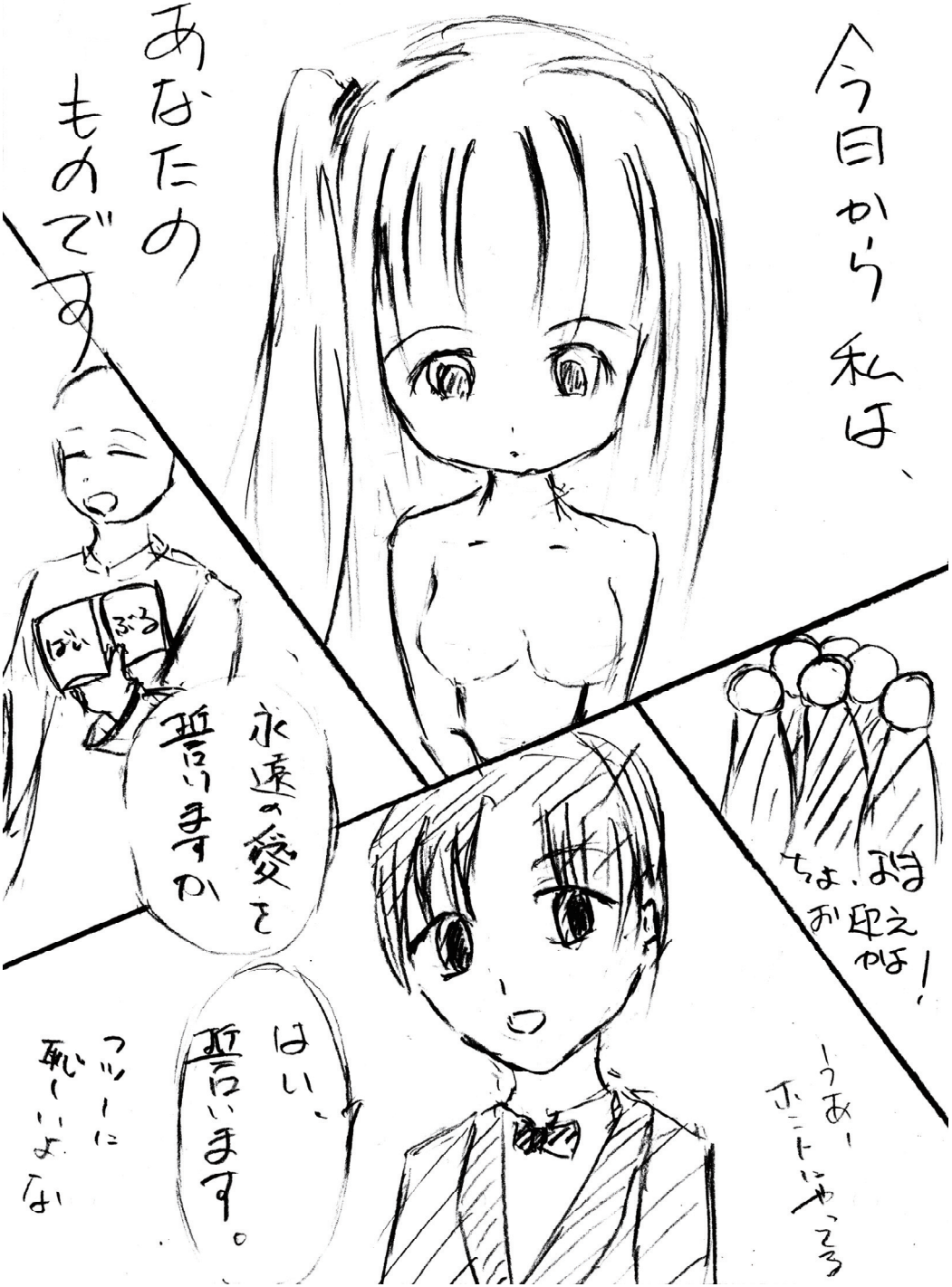
助触共和

Fukapon


今日から私は、
あなたのものです。
ばいぶる
永遠の愛を誓いますか
はい、誓います。
ヒューヒュー
熱いよな
お前ら見えねぇぞ！
ちょっとおいて
うぉーホントにやってる

憧れだった
制服に
身を包み





ボクだけを
見つめる
その瞳に



そっと、
キスをした

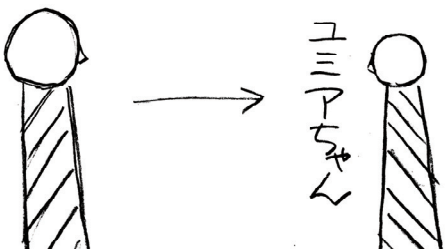
――はずだった。

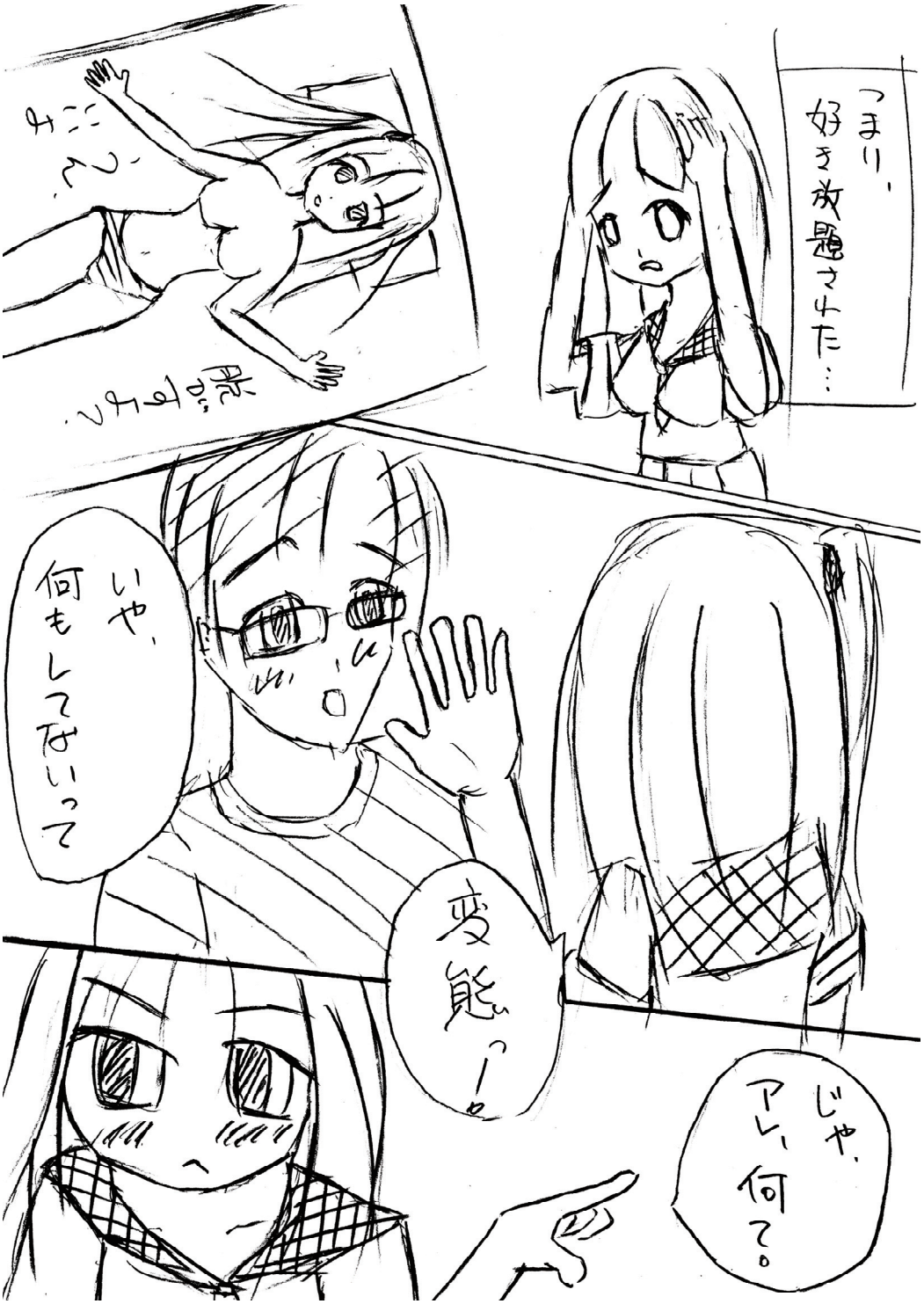
あれ？
なんか唇が
重たいって。

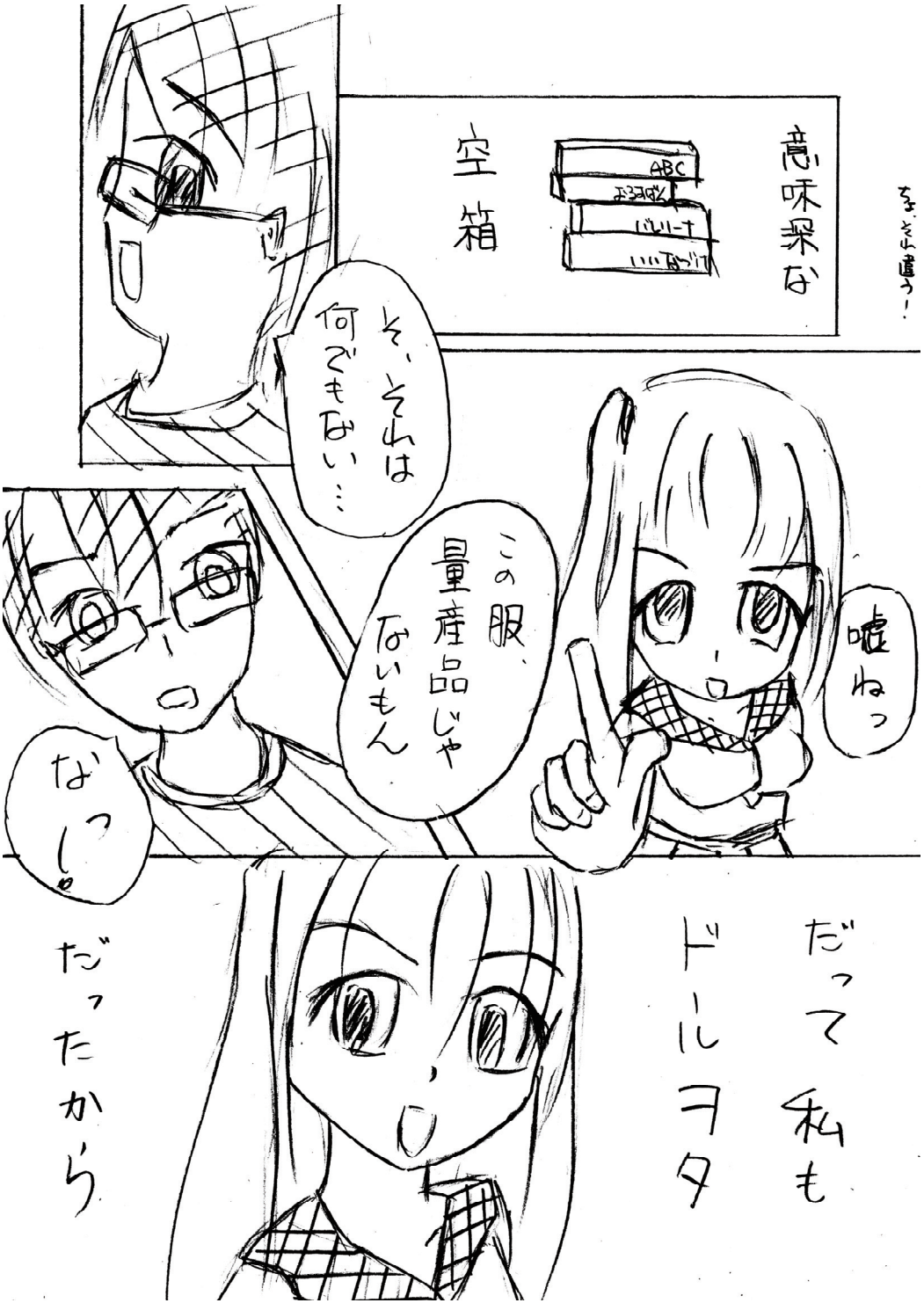
ふぅうそんなに寝らんだろ…

はじめまして。
ユミアちゃん

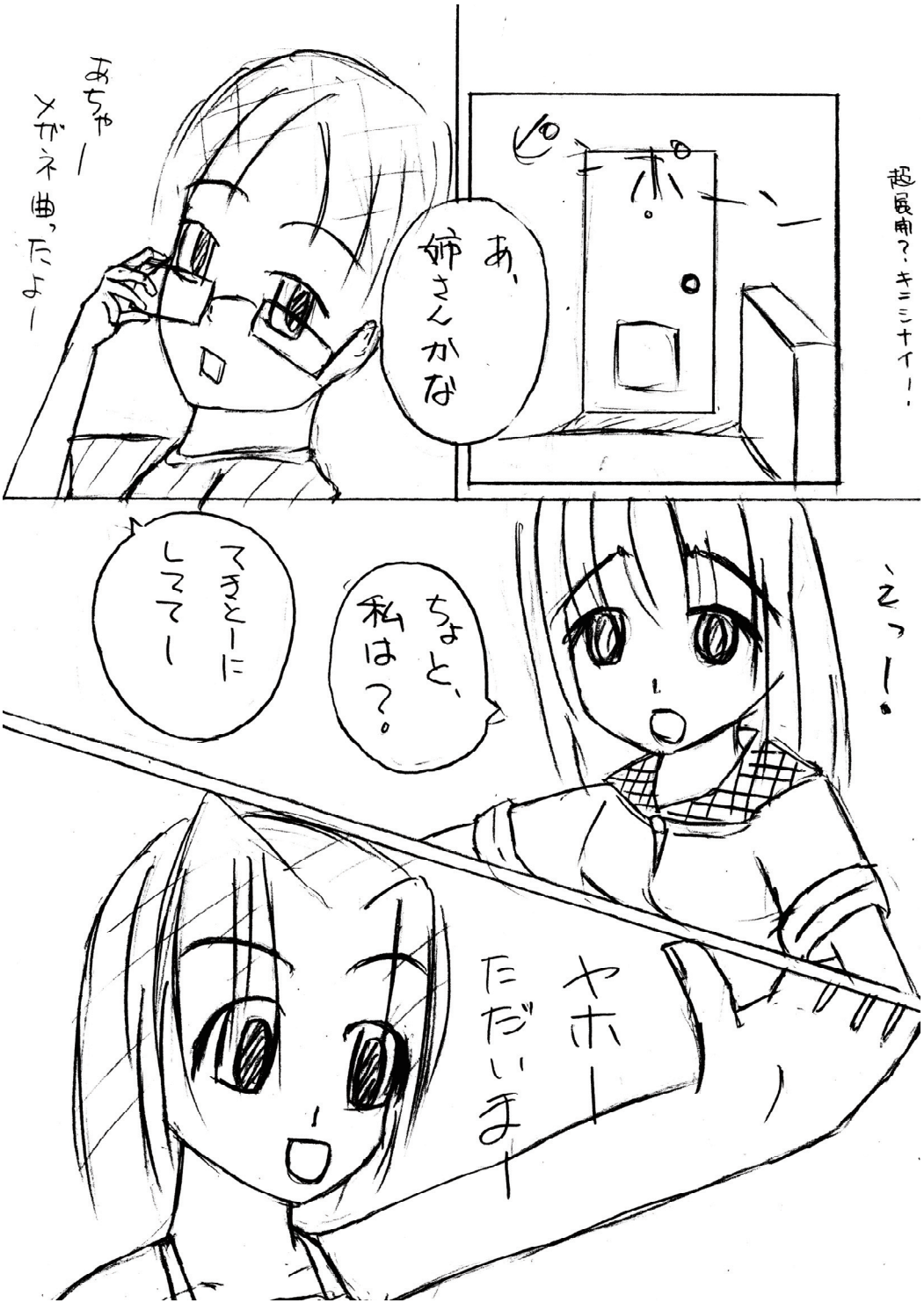
私は、どこ？
つか、「私」!?

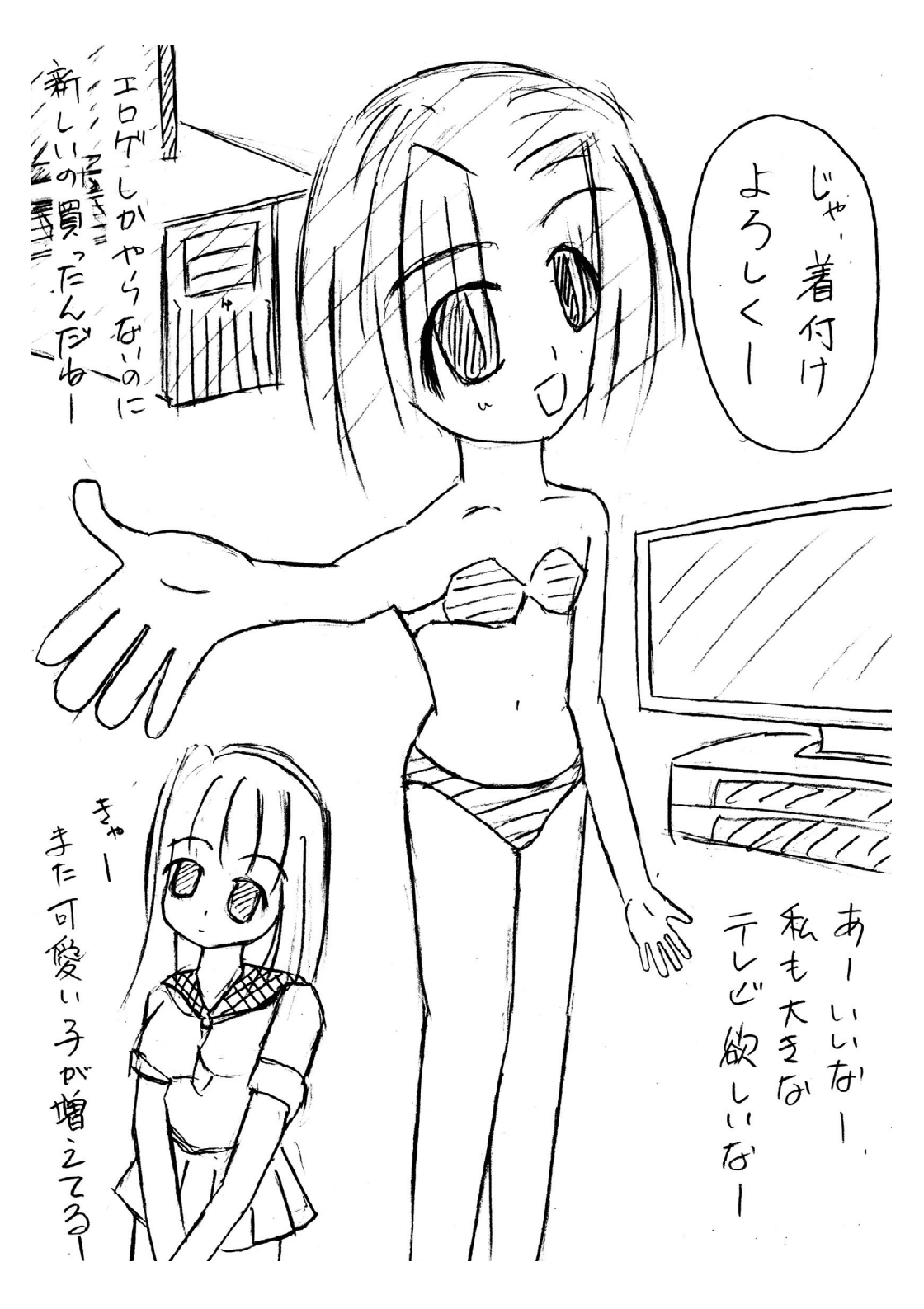



つまり、好き放題された…
みこ～ん
楽だわ。
じゃ、アレ、何て。
変態っ！
いや、何もしてないって

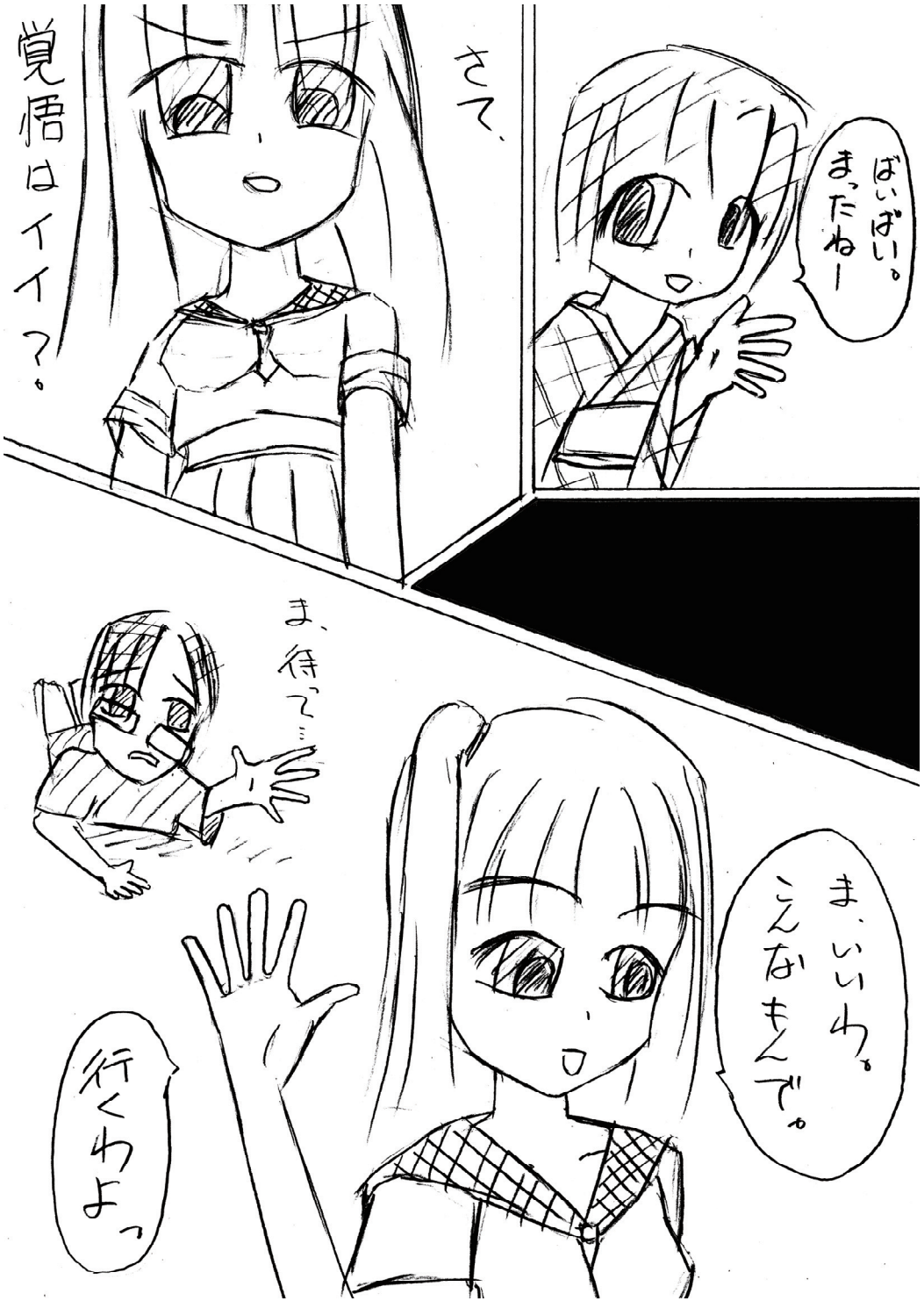

意味深な
空箱
ABC
そ、そんな事ない…
この服、量産品じゃないもん
嘘ねっ
なっ
だって私もドールヨタだったから

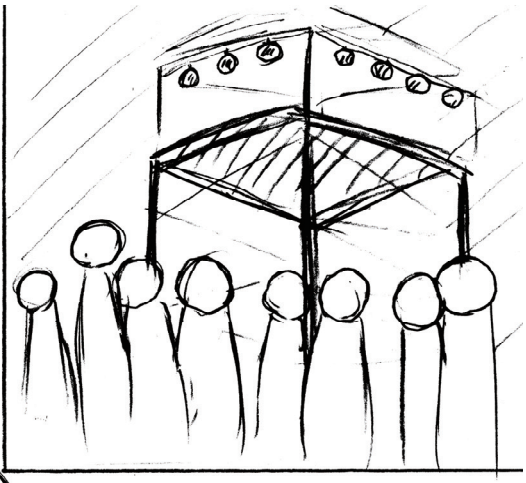

はぁ…
キミ
ねぇ…
私の
手や足
おかしいと
思わないの？
ん？普通
だと思うよ？
調子、
悪いの？
バカっ！
さわるなっ
ういっー。
人形が
しゃべってる
ことに
気づきなさい
よっ！
はっ。


おちゃー
メガネ曲ったよー
あ、姉さんかな
ピンポーン
超展開？キニシナイー。
そっー！
ヤホー
ただいまー
ちょと、私は？。
てきとーにしててー


エロゲしかやらないのに
新しいの買ったんだなー
じゃ、着付け
よろしくー
あーいいなー
私も大きな
テレビ欲しいなー
きゃー
また可愛い子が増えてる


毎年、ありがとねー
ヒロくんいると助かるよー
いい加減覚えたら？
やだよー
だってー
やめてよ、姉さん
お礼、したいもんっ
ほう、そうですか


ばいばい。
また、ねー
さて、
覚悟はイイ？。
ま、待てっ
ま、いいわ。
こんなもんで。
行くわよっ




ほら、お祭やってるよ
人形の命には、それなりの理由があるんだよ
だから、ちょっとだけ背伸びをして、


私はキミなの。
だから、欲しいもの、あげられる


花火みつきいのー。
今は私だけど、
隣に誰かいれば
幸せ、でしょ？。


花火よつきにぬの…
今は私だけど、
隣に誰かいれば
幸せ、でしょ？。

あとがき

もうやめた方がいいんじゃない? という声が方々から聞こえるならまだしも、方々に達さない感じで聞こえる今日この頃、負けずに強く生きようと思う Fukapon です。お久しぶりです。

まぁ、何ですか、アレですよ、行間を読めっつーか、ごめんなさい。小説にしたら、結構いい話になった気がするんだよなぁ。みゅぅ。

漫画を描く人たちがなぜネームを描くのか、今回よくわかりました。文章と違って一度描いたものを大胆に描き直すことができないんですね、当然ですが。次回からはちゃんと描こうと思います。はい、それ以外の問題点には目を瞑りましょう。でないと心が壊れちゃいます（笑。

今でこそ小説の方は及第点を取れている感じですが、昔は、ねぇ。小説に限らなければ、もっとひどい文章書いてきたよ、ねぇ。それでも公開し続けたから今に辿り着けたんだって思っています。絵の方もそんな感じで、下手でも何でも人に見せながら長く続けていこうと決めたのです。がんばってたくさん描いてうまくなるのです。

では、また。
次は冬コミかな。

2007 年 8 月、今回もまた不安でいっぱいのコミケ前。

前職生身

Fukapon

2007 年 8 月 19 日 初版発行

発行所　まにふいくみやはか
印刷/製本　project KAIGO 東川口分室

Copyright (C) 2007 Fukapon <fukapon@projectkaigo.org>
http://www.projectkaigo.org/